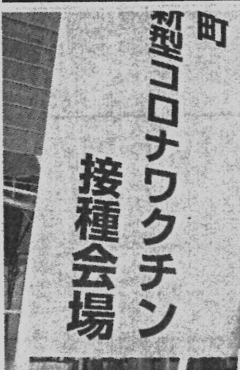


# 新型コロナ 「第8波」襲来レポート

# ワクチン大国日本が 感染者世界「死者激増」 ひどすぎる理由

「打てば打つほどかかちやすい」という愕然

ワクチンはコロナ禍における感染拡大の切り札と目されてきた。しかし、ここへきて目を覆いたくなるデータが次々に報告されている。接種率が高い国こそ、感染者数が増加している。ワクチン接種について、もう一度考える時期にきているのかもしれない。



3年ぶりに行動制限のなかった年末年始。友人と久しぶりの温泉旅行を計画していた、都内に住む飯島範子さん（62才・仮名）が顔をしかめる。「新型コロナに感染し、お正月は寝込んで終わってしまいました。当然、旅行はキャンセル。高熱にうなされて咳も

ひどく、眠れない夜が続いてつらかった。でもまさか自分が感染するなんて……。だつて感染しないために、12月の中旬には、ワクチンの5回目の接種を終えたばかりでしたから。それなのに……」

飯島さんと同じように、ワクチン接種に疑問を抱く人は

少なくない。もはや「ワクチン打つても感染した」という事例はごくありふれたものになり、ワクチンメーカーの「感染予防効果は90%以上」という当初の触れ込みなど、信じている人はいないだろう。

昨年12月には、政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会会長

より、いまやワクチン大国となった。だが皮肉なことに、ワクチンを打ち続ける国民が愕然とするデータがある。

WHOがまとめた新型コロナウイルス感染症の集計で、日本は週間感染者数が22年11月から10週連続で世界一を記録。最新の1月11日までの1週間では118万2322人で、2位の米国（46万2944人）とは2倍以上の開きがある――

ワクチン大国になったはずの日本で、なぜ感染者が増えているのか。

「ワクチンを接種すればするほど、コロナにかかりやすくなる可能性は否定できない」と話すのは、新潟大学名誉教授で医師の岡田正彦さんだ。「世界68か国を対象に、「国民のワクチン接種率」と「人口100万人あたりの1週間の新規感染者数」を照らし合わせると、接種率が高い国ほど感染者が多いという驚きの論文が出た。ワクチンの接種が結果的に、体内に侵入したウイルスを撃退する免疫力を

下げてしまっていることが推測されます。しかも免疫低下は一時的ではなく、数十年単位という長期に影響する可能性もある。すでに打つてしまったのは仕方ないが、これ以上の接種にはかなり慎重になるべきです」

名古屋大学名誉教授で医師の小島勢一さんも、ワクチン接種がコロナ感染を引き起こす可能性を指摘する。

「アメリカの『疾病対策予防センター』の研究者が33万人を対象に調査したところ、未接種、2回、3回、4回とワクチンの接種回数が増えるほど、感染率が29%、33%、38%、41%と高くなることがわかりました。ワクチンの接種回数が増えるほど感染しやすくなることを、ストレート

に示しているデータです」

WHOが発表した週間感染者数が多い上位5か国に關して、「人口100万人あたりの感染者数」と「100人あたりのワクチン接種回数」を左上の表にまとめた。ワクチン接種回数の少ないアメリカで、人口100万人あたりの感染者数が少ないのは一目瞭然だ。

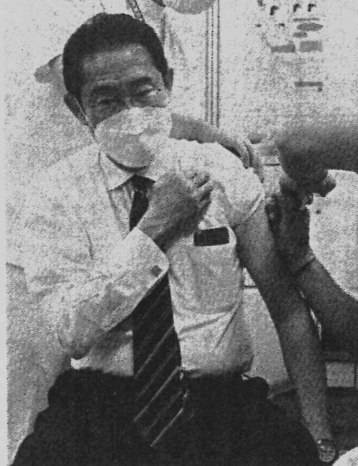
「現在、政府が感染拡大の切り札として接種をすすめるオミクロン株対応ワクチンも、感染予防の期待は薄い。「免疫学では『抗原原罪』という現象が知られています。変異株に対応した改良型ワクチンを接種しても、最初に接種したワクチンに対応した中和抗体だけが増加し、必要とする改良型ワクチンによる中和抗体は充分に作られないという現象です。アメリカの医学雑誌『ニューイングランド・ジャーナル・オブ・メディスン』でも最新の研究成果として掲載されています。」

「医療界では変わり者扱いされてしまいますが、コロナのワクチンは効かない」と強く指摘したい。それはかりか接種をやめないと、変異株の発生も促進し、さらに感染を

## 「週間感染者数上位5か国」と「ワクチン接種回数」

順位	国名	週間感染者数(人)	人口100万人あたりの週間感染者数(人)	100人あたりのワクチン接種回数(回)
1	日本	118万232	9432.4	301.14
2	アメリカ	46万2944	1394.4	200.32
3	韓国	35万4924	6874.3	250.21
4	中国	25万9786	185.5	244.44
5	ブラジル	14万8920	695.8	224.01

※WHO発表の1月5～11日の感染者数と、Our World in Dataのワクチン接種回数をもとに編集部で作成。



5回目のワクチン接種を受ける岸田文雄首相。

「アメリカの『疾病対策予防センター』の研究者が33万人を対象に調査したところ、未接種、2回、3回、4回とワクチンの接種回数が増えるほど、感染率が29%、33%、38%、41%と高くなることがわかりました。ワクチンの接種回数が増えるほど感染しやすくなることを、ストレート

「接種をやめれば、感染者も減らせると考えています」

ワクチンを打つか打たないかは個人の判断だが、ワクチン接種が始まった21年とは状況が大きく異なっていることを理解しなければならぬ。

「接種をやめれば、感染者も減らせる」と考えています」

ワクチンを打つか打たないかは個人の判断だが、ワクチン接種が始まった21年とは状況が大きく異なっていることを理解しなければならぬ。



# 中国1月下旬春節大観



検査の精度が疑わしい。  
中国のコロナ対策への不信感が募るなか、中国人観光客を通じて感染拡大を恐れる各国は水際対策を強化した。日本政府も中国本土から直行便で来日する渡航者に対し、出国前72時間以内を受けた検査の陰性証明の提出や、入国時に抗原検査より精度の高いPCR検査などを課し、陽性の

## 「潜伏期間」の検査キット

解析が禁じられているとされ、変異株の対策が不鮮明です。春節で日本国内に変異株が持ち込まれたら、大変な騒ぎになるでしょう」（一石さん、以下同）  
オミクロン株から変異したウイルスは強毒化の恐れがある上、従来のワクチンが効かないかもしれない。この先、得体の知れないウイルスが日本に上陸する恐れがあるのだ。

# 光団が“密輸”する 正体変異株の恐怖

いつになったら新型コロナとの闘いに終止符が打たれるのか——多くの人がそう感じながら、押し寄せる流行の第8波に不安を覚えている。だが、国内の感染拡大とは比べものにならないほどの大波が、春節の“観光気分”とともに届こうとしている。

新型コロナ



陰性証明書、PCR検査、7日間の隔離……  
全水際対策をすり抜ける!?

「コロナ初期から中国産の検査キットや医療用マスクは欠陥品だと欧州各国が批判していました。実際に京都府警が中国から不正に輸入された中

陰性確認書があってもすり抜けが起こるのはなぜか。ひとつの要因は、中国の医療用品にある。  
「コロナ初期から中国産の検査キットや医療用マスクは欠陥品だと欧州各国が批判していました。実際に京都府警が中国から不正に輸入された中

場合は7日間の隔離となる。「それでも感染者の上陸をゼロにするのは難しい」  
一石さんはそう指摘する。「コロナ規制の緩和前も、ビジネス往来する中国人や、外国人は出入国が可能でした。昨年12月30日から1月5日までに中国本土から日本に入国した4895人のうち、408人が空港検査で陽性となりました。韓国では中国からの入国者に「入国前陰性確認書」の提出が義務付けられた初日の1月5日、ある旅客機の乗客278人のうち35人が陽性でした。

日韓の事例から見ると、中国から来る入国者のうち8〜12%程度がコロナに感染している可能性があります」

昨年、中国からイタリア・ミラノに到着した航空2便に至っては、乗客の半数近くが陽性だった。

陰性確認書があってもすり抜けが起こるのはなぜか。ひとつの要因は、中国の医療用品にある。

「コロナ初期から中国産の検査キットや医療用マスクは欠陥品だと欧州各国が批判していました。実際に京都府警が中国から不正に輸入された中

陰性確認書があってもすり抜けが起こるのはなぜか。ひとつの要因は、中国の医療用品にある。

「コロナ初期から中国産の検査キットや医療用マスクは欠陥品だと欧州各国が批判していました。実際に京都府警が中国から不正に輸入された中

陰性確認書があってもすり抜けが起こるのはなぜか。ひとつの要因は、中国の医療用品にある。

「コロナ初期から中国産の検査キットや医療用マスクは欠陥品だと欧州各国が批判していました。実際に京都府警が中国から不正に輸入された中

陰性確認書があってもすり抜けが起こるのはなぜか。ひとつの要因は、中国の医療用品にある。

「コロナ初期から中国産の検査キットや医療用マスクは欠陥品だと欧州各国が批判していました。実際に京都府警が中国から不正に輸入された中

陰性確認書があってもすり抜けが起こるのはなぜか。ひとつの要因は、中国の医療用品にある。

「コロナ初期から中国産の検査キットや医療用マスクは欠陥品だと欧州各国が批判していました。実際に京都府警が中国から不正に輸入された中

陰性確認書があってもすり抜けが起こるのはなぜか。ひとつの要因は、中国の医療用品にある。

「コロナ初期から中国産の検査キットや医療用マスクは欠陥品だと欧州各国が批判していました。実際に京都府警が中国から不正に輸入された中

陰性確認書があってもすり抜けが起こるのはなぜか。ひとつの要因は、中国の医療用品にある。

「コロナ初期から中国産の検査キットや医療用マスクは欠陥品だと欧州各国が批判していました。実際に京都府警が中国から不正に輸入された中

陰性確認書があってもすり抜けが起こるのはなぜか。ひとつの要因は、中国の医療用品にある。

「コロナ初期から中国産の検査キットや医療用マスクは欠陥品だと欧州各国が批判していました。実際に京都府警が中国から不正に輸入された中

陰性確認書があってもすり抜けが起こるのはなぜか。ひとつの要因は、中国の医療用品にある。

「コロナ初期から中国産の検査キットや医療用マスクは欠陥品だと欧州各国が批判していました。実際に京都府警が中国から不正に輸入された中

陰性確認書があってもすり抜けが起こるのはなぜか。ひとつの要因は、中国の医療用品にある。

「コロナ初期から中国産の検査キットや医療用マスクは欠陥品だと欧州各国が批判していました。実際に京都府警が中国から不正に輸入された中

陰性確認書があってもすり抜けが起こるのはなぜか。ひとつの要因は、中国の医療用品にある。

「コロナ初期から中国産の検査キットや医療用マスクは欠陥品だと欧州各国が批判していました。実際に京都府警が中国から不正に輸入された中

陰性確認書があってもすり抜けが起こるのはなぜか。ひとつの要因は、中国の医療用品にある。

し、感染者や濃厚接触者が出たら即座に隔離して一帯を封鎖した。

しかし昨年12月、当局は方針を大転換。オミクロン株は軽症、無症状が9割以上で、重症率は1%前後にとどまるなどのデータをもとに従来の検査や隔離、各種規制を次々と撤廃し、「ウィズコロナ」に踏み切った。

結果はどうか。1月上旬の段階で、中国当局が公表した昨年12月上旬〜1月上旬までの死者は中国本土でわずか数十人とどまった。

だが「この数字は実態とは大きく異なる」と、国際未病ケア医学研究センター長の石英一郎さんが指摘する。

「ワクチン接種が進んでいないのに一律に規制を撤廃したことから、中国本土で感染が急拡大しました。ところが当局は大規模なPCR検査を取りやめ、基礎疾患の悪化で死亡してもコロナの死者には含まない方針を打ち出したため、感染者数や死者数の実態が把握できなくなった。世界保健機関（WHO）も「中国政府はコロナの本当の影響を過少報告している」と批判しています」

医療ガバナンス研究所理事長で医師の上昌広さんも中国当局の姿勢を批判する。「中国の公式発表には信憑性がありません。現実には中国

の検査キットを調べると、日本の承認品に比べて264分の1の精度しかなく、結果もほぼ陰性しか出ませんでした。日本や欧米諸国は入国時に72時間以内の陰性証明書の提出を求めています。中国で流通する精度の低い検査キットを用いた検査結果の信憑性は高くありません」

最後の砦となるのが日本の空港におけるPCR検査だが、こちらも盤石とは言い難い。カギを握るのは「潜伏期間」だ。オミクロン株は2〜3日程度の潜伏期間を経て発症するケースが多い。仮に中国で発行される72時間以内の陰性証明が科学的に正しいものとしても、中国での検査後に現地で感染して潜伏期間に突入したら、日本の空港でのPCR検査では感知できず、コロナが「密輸」されてしまうのだ。

「中国と日本は渡航距離が短く、渡航中に潜伏していたウイルスが、陽転化する可能性が低い。日本の空港でのPCR検査を潜伏してすり抜けた中国人観光客が入国後に陽性化し、観光地で感染が拡大する恐れがあります」

「中国と日本は渡航距離が短く、渡航中に潜伏していたウイルスが、陽転化する可能性が低い。日本の空港でのPCR検査を潜伏してすり抜けた中国人観光客が入国後に陽性化し、観光地で感染が拡大する恐れがあります」

「中国と日本は渡航距離が短く、渡航中に潜伏していたウイルスが、陽転化する可能性が低い。日本の空港でのPCR検査を潜伏してすり抜けた中国人観光客が入国後に陽性化し、観光地で感染が拡大する恐れがあります」

「中国と日本は渡航距離が短く、渡航中に潜伏していたウイルスが、陽転化する可能性が低い。日本の空港でのPCR検査を潜伏してすり抜けた中国人観光客が入国後に陽性化し、観光地で感染が拡大する恐れがあります」

「中国と日本は渡航距離が短く、渡航中に潜伏していたウイルスが、陽転化する可能性が低い。日本の空港でのPCR検査を潜伏してすり抜けた中国人観光客が入国後に陽性化し、観光地で感染が拡大する恐れがあります」

「中国と日本は渡航距離が短く、渡航中に潜伏していたウイルスが、陽転化する可能性が低い。日本の空港でのPCR検査を潜伏してすり抜けた中国人観光客が入国後に陽性化し、観光地で感染が拡大する恐れがあります」

「中国と日本は渡航距離が短く、渡航中に潜伏していたウイルスが、陽転化する可能性が低い。日本の空港でのPCR検査を潜伏してすり抜けた中国人観光客が入国後に陽性化し、観光地で感染が拡大する恐れがあります」

「中国と日本は渡航距離が短く、渡航中に潜伏していたウイルスが、陽転化する可能性が低い。日本の空港でのPCR検査を潜伏してすり抜けた中国人観光客が入国後に陽性化し、観光地で感染が拡大する恐れがあります」

「中国と日本は渡航距離が短く、渡航中に潜伏していたウイルスが、陽転化する可能性が低い。日本の空港でのPCR検査を潜伏してすり抜けた中国人観光客が入国後に陽性化し、観光地で感染が拡大する恐れがあります」

「中国と日本は渡航距離が短く、渡航中に潜伏していたウイルスが、陽転化する可能性が低い。日本の空港でのPCR検査を潜伏してすり抜けた中国人観光客が入国後に陽性化し、観光地で感染が拡大する恐れがあります」

「中国と日本は渡航距離が短く、渡航中に潜伏していたウイルスが、陽転化する可能性が低い。日本の空港でのPCR検査を潜伏してすり抜けた中国人観光客が入国後に陽性化し、観光地で感染が拡大する恐れがあります」

「中国と日本は渡航距離が短く、渡航中に潜伏していたウイルスが、陽転化する可能性が低い。日本の空港でのPCR検査を潜伏してすり抜けた中国人観光客が入国後に陽性化し、観光地で感染が拡大する恐れがあります」

「中国と日本は渡航距離が短く、渡航中に潜伏していたウイルスが、陽転化する可能性が低い。日本の空港でのPCR検査を潜伏してすり抜けた中国人観光客が入国後に陽性化し、観光地で感染が拡大する恐れがあります」

「中国と日本は渡航距離が短く、渡航中に潜伏していたウイルスが、陽転化する可能性が低い。日本の空港でのPCR検査を潜伏してすり抜けた中国人観光客が入国後に陽性化し、観光地で感染が拡大する恐れがあります」

「中国と日本は渡航距離が短く、渡航中に潜伏していたウイルスが、陽転化する可能性が低い。日本の空港でのPCR検査を潜伏してすり抜けた中国人観光客が入国後に陽性化し、観光地で感染が拡大する恐れがあります」

「中国と日本は渡航距離が短く、渡航中に潜伏していたウイルスが、陽転化する可能性が低い。日本の空港でのPCR検査を潜伏してすり抜けた中国人観光客が入国後に陽性化し、観光地で感染が拡大する恐れがあります」

の感染状況は相当にひどく、病院では十分な医療を受けられず、ドラッグストアの薬はどれも売り切れだぞうです。知人の中国人の親族がコロナで亡くなりましたが、診察の順番を待って病院に2時間いるうちに20人が運び込まれてうち2人がその場で亡くなったと聞きました」

冒頭で紹介したように、中国・北京の病院は患者があふれかえり、葬儀場で人々が行列をなす映像がSNSで拡散された。火葬場がパンクして、30〜40体の遺体が地面に放置されているとも報じられた。

感染の規模もますます、中国疾病予防センターの担当者は、人口2000万人以上の首都・北京について、12月末の時点で「感染率は80%を超えた可能性がある」との見方を示した。また、中国本土に目を移しても、全人口14億人の半数近い6億人がすでに感染している可能性があるとも報じられた。

イギリスの医療関連調査会社は、今後ピーク時に中国で1日あたり最大2万5000人が死亡すると試算する。

不透明なのは、感染実態だけではない。世界が恐れるのは「中国発変異株」の出現だ。「6億人が感染したとされる中国では新たな変異株が出現している可能性があります。しかし中国では民間のゲノム

コロナ規制の撤廃を受けて中国では海外旅行への関心が高まり、旅行サイトによると、春節の連休は海外旅行の予約が前年比54.0%増となった。中でも日本は行きたい国トップ3に入る人気国で、大観光団の来日が予想される。

過去に日本では、家庭内感染から学校や職場などにウイルスが広まった。この先は、中国版・家庭内感染からの感染拡大が懸念される。

「潜伏期間で空港検査をすり抜けた中国人観光客が滞在中に発症する場合、まずは旅行中に行動を共にする家族や団体に感染させて、そこから日本人に感染が波及する可能性があります。すでに日本は、世界一コロナに感染している国。なのに、今後さらに拍車がかかって厳しい状況に陥り、医療体制が逼迫することが心配されます」

中国当局は日本の水際対策強化に猛抗議して、日本人渡航者へのビザ発給を停止する対抗措置を講じた。

日本はこうした中国の強面に屈せず、コロナ密輸の防御態勢を固める必要がある。

中国当局は日本の水際対策強化に猛抗議して、日本人渡航者へのビザ発給を停止する対抗措置を講じた。

日本はこうした中国の強面に屈せず、コロナ密輸の防御態勢を固める必要がある。

中国当局は日本の水際対策強化に猛抗議して、日本人渡航者へのビザ発給を停止する対抗措置を講じた。

日本はこうした中国の強面に屈せず、コロナ密輸の防御態勢を固める必要がある。

中国当局は日本の水際対策強化に猛抗議して、日本人渡航者へのビザ発給を停止する対抗措置を講じた。

日本はこうした中国の強面に屈せず、コロナ密輸の防御態勢を固める必要がある。

中国当局は日本の水際対策強化に猛抗議して、日本人渡航者へのビザ発給を停止する対抗措置を講じた。

日本はこうした中国の強面に屈せず、コロナ密輸の防御態勢を固める必要がある。

中国当局は日本の水際対策強化に猛抗議して、日本人渡航者へのビザ発給を停止する対抗措置を講じた。

日本はこうした中国の強面に屈せず、コロナ密輸の防御態勢を固める必要がある。

中国当局は日本の水際対策強化に猛抗議して、日本人渡航者へのビザ発給を停止する対抗措置を講じた。

日本はこうした中国の強面に屈せず、コロナ密輸の防御態勢を固める必要がある。

中国当局は日本の水際対策強化に猛抗議して、日本人渡航者へのビザ発給を停止する対抗措置を講じた。

日本はこうした中国の強面に屈せず、コロナ密輸の防御態勢を固める必要がある。



# 全責相スクープ 堀雅人 菅野美穂と暴走舞台退社トラブル

ワクチン大国・日本が感染者世界一 死者激増のひどすぎる理由

小栗旬 綾野剛も全裸被害 暴露男を告げたトップ俳優と実業家

寒中見舞いプレミアム特大号

独占内幕 眞子妊娠を猛烈サポ 佳代 念願セレブ 渡米



大坂なおみ妊娠年收格差66億円ラッパー彼氏

日本人の遺伝子に合った 運動 睡眠 入浴の秘密

受けたくない治療はこうして断りなさい

1万人超の患者を救った 目を若返らせる魔法の7レ

主婦もパートもインバウンドで一緒にデブ13



SIXTONES LIVE 慣声の法則フォトBOOK

再就職戦線に異変!! 本当稼げる仕事と資格 2023

女性セブン 2023年1月16日発行 発行人 久和麻美子 川島雅史 小学館発行 千原東京都千代田区一ツ橋三ノ三ノ一 電話(編集)03-3233-0558(販売)03-5281-1771 大日本印刷株式会社印刷



地域に寄り添う。 安心を届ける。

- ひと ●終身共済 ●養老生命共済 ●定期生命共済 ●引受緩和型終身共済 ●医療共済 ●引受緩和型医療共済 ●がん共済 ●特定重度疾病共済 ●生活障害共済 ●認知症共済 ●介護共済 ●予定利率変動型年金共済 ●こども共済 ●傷害共済 など
- いえ ●建物更生共済 ●火災共済 など
- くるま ●自動車共済 ●自賠責共済 ●その他 ●農業者賠償責任共済 など

はじめて共済 <https://shiryo-ja-kyosai.or.jp>

JA共済相談受付センター(JA共済連 全国本部) 0120-536-093

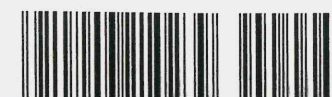
JA共済アプリ

Webマイページ

くらしの保障、相談するなら JA共済

耕そう、大地と地域のみらい。 JAグループ

雑誌 20921-2/2



4910209210239 © Shogakukan 2023 Printed in Japan 特別価格490円 本体445円